

# 四国中央市教育委員会会議録

	<p>平成30年四国中央市教育委員会第8回定例会会議録</p>
日 時	平成30年8月17日（金） 午後1時30分～
場 所	四国中央市本庁5階第1委員会室
委員定数	5名
出席委員	教育長 伊藤 茂、委員 篠原 祥子、委員 鈴木 千明、委員 東 誠、委員 篠原 理
欠席委員	なし
会議に出席した 公務員の職氏名	<p>教育管理部長 石川 寿一、教育指導部長 眞鍋 葵、 教育総務課長 森実 啓典、学校教育課長 品川 弘樹、 生涯学習課長 窪田 壮哲、文化・スポーツ振興課長 石川 正広、 学校教育課指導監 篠原 隆輔、教育総務課長補佐 鈴木 崇士、 教育総務課係長 井川 季代、教育総務課 大西 祐実、 教育総務課 松林 永子</p>
傍聴人	10名（一般傍聴者10名）
日 程	<p>開会宣言 教育長挨拶</p> <p>日程第1 平成30年第7回定例会会議録の承認 日程第2 平成30年第8回定例会会議録署名人の指名 日程第3 諸般の報告     教育長より諸般の報告     各課長より事務報告 日程第4 議事     議案第26号 四国中央市中学校教科用図書（特別の教科道徳）及び小         学校教科用図書採択について 日程第5 その他</p> <p>閉会宣言</p>
会議の概要	
事務局	<p><b>開会</b> 開会に先立ち、傍聴をされる方にお願ひする。傍聴に際しては、四国中央市教育委員会傍聴人規則を遵守願う。なお、議題等につき、公開が不可となった場合は、退席をお願ひすることがあるので、あらかじめご了承ください。</p> <p>ただ今より、平成30年第8回定例会を開会する。 なお、教育委員全員の出席を得られているので、本定例会の成立を確認する。開会にあたり、教育長よりご挨拶をお願ひする。</p>
伊藤教育長	<p><b>教育長挨拶</b> 先月末から今月にかけて第11回書道パフォーマンス甲子園、中学校の音楽会、また、新宮地域の成人式などご足労いただくことが多く、教育委員各位</p>

# 四国中央市教育委員会会議録

	<p>には大変お世話になった。その中で、書道パフォーマンス甲子園は、台風12号の影響を大きく受けた大会であった。県内の2校が本戦の辞退、市内の高校生ボランティアの参加の自粛があったが、市職員や一般ボランティアのご協力により、無事に大会を終えることができた。先日行われた書道パフォーマンス甲子園の臨時実行委員会では、自然災害等による本戦の順延や運営スタッフの確保、また、予選における開催地の設定などについての協議が行われた。第12回大会に向けて、様々な課題を解決すべく、引き続き実行委員会において協議に努めていかなければならない。予選参加校が116校に増え、110校の参加校の俳句甲子園に肩を並べる高校生の全国大会となった。これから、書道パフォーマンス甲子園をどのような大会にしていくのか、今後、益々、大会の意味が問われていくのではないかと思う。それゆえ、高校生の直向きな姿勢、熱い思いを大切に大会の企画運営にあたっていかなければならないと思う。</p> <p>その他、それぞれお気づきの点があれば、後ほどお話しいただければと思う。そのような中、今回ご審議いただく平成31年度使用中学校教科用図書、特別の教科道徳、小学校教科用図書の選定に向け、各出版社の教科用図書、採択委員会からの答申などの様々な資料に基づき、ご検討をいただいたことと思う。この後、十分にご審議をお願いする。また、審議のための答申や検討資料などの作成にあたられた採択委員をはじめ関係者の皆様に、この場をお借りしてお礼申し上げます。</p>
事務局	<p>これよりの議事進行については、教育長をお願いする。</p>
伊藤教育長	<p><b>会議録承認</b>          会議録の承認について諮る。平成30年第7回定例会会議録案について、事務局より説明を求める。</p>
事務局	<p>平成30年第7回定例会会議録案の概要を説明する。</p>
伊藤教育長	<p>平成30年第7回定例会会議録案の承認について諮る。</p>
全委員	<p>承認する旨答える。</p>
伊藤教育長	<p>承認の旨確認し、平成30年第7回定例会会議録の原案を承認する旨宣する。既に指名の委員には、それぞれ後ほど会議録に署名を願う。</p>
伊藤教育長	<p><b>会議録署名委員の指名</b>          平成30年第8回定例会会議録署名人に、東誠委員、篠原理委員を指名する。</p>
伊藤教育長	<p><b>報告事項</b>          諸般の報告については特別に私から申し上げることはなく、各課から報告の後ご審議いただきたい。          続いて、各課から事務報告を求める。</p>
森実教育総務課長	<p>教育総務課所管の教育総務・学校管理・学校施設に関し、資料に基づき事務報告する。</p>

# 四国中央市教育委員会会議録

<p>窪田生涯学習課長</p>	<p>8/17 本日、第8回教育委員会定例会である。              8/22 教育委員会外部評価委員会を開催する予定である。              8/28 平成30年第3回定例会付議事件説明会を予定している。              9/4 平成30年第3回市議会定例会が開催される。              9/11から3日間、平成30年第3回市議会定例会の一般質問を予定している。              9/14 平成30年第3回市議会常任委員会の教育厚生委員会が開催される。              9/21 平成30年第3回市議会定例会の最終日を予定している。              8/25 学校給食米の収穫祭を予定している。              8/29 食物アレルギー対応マニュアル策定委員会を予定している。              9月の3連休において新庁舎への移転作業を予定している。</p> <p>生涯学習課所管の社会教育・人権教育に関し、資料に基づき事務報告する。</p> <p>8/2、6、8 新規採用・転入教職員等人権・同和教育研修会を実施した。120名程の参加者があり、フィールドワークを行った。              8/14 新宮地域の夏の成人式を実施した。対象者8名に対して参加者7名となり、新成人の門出を祝福した。              8/17 人権・同和教育推進者養成講座では、ワークショップが実施された。              8/21 市人権・同和教育研究大会社会教育の部が予定されている。同和問題、障がいのある人の人権問題に関する発表とパネルディスカッションを予定している。              8/24 第3回新規採用・転入教職員等人権・同和教育研究会を予定している。              8/29 全教職員等を対象にした教職員等人権・同和教育研修会では、昼の部と夜の部の2回を予定している。山口県人権啓発センターの川口泰司さんをお招きして、インターネットと部落差別の現実という内容でお話いただく予定である。              9/13 人権・同和教育推進者養成講座を実施する予定である。</p>
<p>石川文化・スポーツ振興課長</p>	<p>文化・スポーツ振興課所管の文化振興・スポーツ振興・図書館に関し、資料に基づき事務報告する。</p> <p>7/29 第11回書道パフォーマンス甲子園が開催された。台風12号の接近で県内の西条高校と新居浜西高校が参加できなかったが、無事開催することができ、出席された各委員にお礼申し上げます。観覧者数は延べ5,000名であった。この大会を通じて、実行委員会の在り方が問われたと思う。来年にむけてこうした災害時にどのような対応をしていくか学校も含めて検討していきたいと思う。              8/26 四国中央市・みすゞ塾公演「金子みすゞの世界～テルとマサスケとかあさまと～」を予定している。              8/30 平成30年度図書館協議会を予定している。              9/2 第113回四国中央ふれあい大学「杉良太郎講演会」を予定している。              9/9 四国中央市文化協会 川之江地域 芸能部門発表会を予定している。              9/29 四国中央ふれあい大学情報発信事業「帆風成海トークショー＆ワー</p>

## 四国中央市教育委員会会議録

	<p>クショップ」を予定している。</p> <p>9/30 第114回四国中央ふれあい大学「夏井いつき句会ライブ」を予定しているが、チケットは完売となっている。</p> <p>8/20 市民スポーツ祭実行委員会を予定している。</p> <p>8/26 松山市民会館で愛・野球博オープニングフォーラムを予定している。</p> <p>9/1 愛媛 FC マッチシティでは、川之江のダンスグループ AI が参加予定である。</p> <p>各図書館においては、上映会やおはなし会等、ボランティアグループの協力をいただき様々な行事を実施している。</p> <p>暁雨館では、7/10から8/19の間、企画展として「二洲と篤山（第二部）～二人の先生とその周辺～」を開催している。これまで、609名の方に来場いただいている。</p> <p>9/27、28 観月会を開催する予定であるが、例年60～70席を用意しているが、現在、全て満席である。</p>
品川学校教育課長	<p>学校教育に関し、資料に基づき事務報告する。</p> <p>8/7～9 愛媛大学教育学部の学生、小中学生、地域支援サークルの交流として新宮小中学校サマースクールを実施した。大学生10名、小学生28名、中学生9名の参加があった。大学生との交流、地域支援サークルの方との竹細工作り、教員を目指す大学生と現職教員との意見交換を実施した。</p> <p>8/24 市いじめSTOP愛顔の子ども会議を予定している。</p> <p>9/3 始業式を予定している。</p> <p>9/16 体育祭（中学校）を予定している。</p> <p>9/23 運動会（小学校）を予定している。</p> <p>9/30 運動会（公立幼稚園）を予定している</p> <p>9/25～27 中学校新人体育大会を予定している。</p> <p>続いて、少年育成センターに関し、資料に基づき事務報告する。</p> <p>協議会、見守り活動、特別補導が実施されており、今のところ非行、事故等の報告はない。</p>
伊藤教育長	<p>只今の各報告について、意見質問等がないか問う。</p>
篠原祥子委員	<p>書道パフォーマンス甲子園であるが、高校生ボランティアがいない中、市職員の方々の協力に感謝する。また、台風の影響で観客席も空席が多く、寂しく感じた。どの高校も一生懸命で、書道のレベルも上がってきていると感じた。来年度は地元高校にも出てもらいたい。</p>
伊藤教育長	<p>他に意見質問等がないか問う。</p>
鈴木千明委員	<p>お盆の間、学校が休みになると伺ったが、その場合の緊急連絡等是对応できるのか。</p>
品川学校教育課長	<p>今年は、14～16日の3日間、学校の閉校日とした。その間の各校への連絡先については教育委員会としている。また、メールで校長へ連絡ができるような体制を整えている。</p>

## 四国中央市教育委員会会議録

鈴木千明委員	今年、その3日間で何か連絡等はなかったか。
品川学校教育課長	なかった。
伊藤教育長	他に意見質問等がないか問う。
東誠委員	新宮地域の成人式であるが、大変温かい雰囲気の中で行われたと思う。その中で恩師の先生方からのビデオレターの上映があったが、今年は1名のみであったので、一言でも良いので先生方に協力してほしいと思う。
窪田生涯学習課長	今後、学校教育課と連携を図りながら、取り組んでいきたい。
伊藤教育長	他に意見質問等がないか問う。
篠原理委員	書道パフォーマンス甲子園であるが、高校生の熱い思いが伝わってきて、素晴らしい大会だったと思う。西条高校と新居浜西高校に関しても、教育委員会の対応は冷静な判断だったと思う。
伊藤教育長	他に意見質問等がないか問う。特にない旨確認し、議事に移る。
伊藤教育長	<b>議事</b> 議案第26号「四国中央市中学校教科用図書（特別の教科道徳）及び小学校教科用図書採択について」を上程し、議案の説明を求める。
品川学校教育課長	議案第26号について、資料に基づき議案を説明する。 提案理由としては、5月の定例教育委員会でご承認いただいた四国中央市教科書採択委員会より、四国中央市教科書採択委員会要綱第2条に基づき、平成31年度の四国中央市中学校教科用図書（特別の教科道徳）及び小学校教科用図書についての調査研究結果が7月26日に答申された。 今年、来年度から中学校で開始される「特別の教科道徳」の教科書の採択年になっている。あわせて、教科書改訂が1年間先延ばしされたことに伴って、平成31年度1年間のための、小学校の道徳以外の教科の教科書について採択を行う。 今回の教科書採択委員会における協議検討の資料についてだが、まず一目的の資料として、研究委員の評価である。中学校教科用図書（特別の教科道徳）について、市内中学校教員から3名の研究委員を委嘱した。(1)内容の選択、(2)内容の程度、(3)地域性、(4)組織・配列・分量(5)学習指導への配慮、(6)造本その他などの6つの観点を調査要素とした評価と総合評価を、A(極めて適切)、B(適切)、C(概ね適切)、D(工夫を要する)の4段階でしていただいた。総合所見も記していただいている。 また、小学校の教科については、採択委員会において、新しく参入する教科書会社もなく、教科書の内容も同じであり、文科省通知でも「小学校用教科書では、『4年間の使用実績を踏まえつつ、平成26年度採択における調査研究の内容などを活用することも考えられる』」とあることから、前回の研究資料を使用することとした。 二つ目は、市民の方のご意見である。6月16日から閉館日を除く10日間、市内3図書館において開催した「教科書展示会」において、教科用図書の展示

## 四国中央市教育委員会会議録

	<p>を行った。ご意見箱を設置し、広く市民の皆様からご意見をいただいている。採択委員会においては、これらの資料を基に審議を行い、取りまとめ、6つの観点と総合評価を4段階で記し、総合所見を付けて教科用図書選定答申資料として、教育委員各位に配布させていただいている。</p> <p>なお、研究委員3名及び教科書採択委員会に見識の高い教員の代表者が構成員となっており、代表として意見を反映させることができるとともに、個人的な意見については教科書展示の意見書で表明できるよう保証されており、現場の教員の意見も反映されるようになっている。</p> <p>以上、教科書採択委員会で取りまとめをいただいた資料も参考に、採択をお願いしたい。</p>
伊藤教育長	<p>それでは、事務局提案に基づき、審議に入りたいと思う。 まず、採択委員会答申結果の説明を事務局に求める。</p>
品川学校教育課長	<p>特別の教科道徳は、8社からの採択になっている。研究委員は2名が「東京書籍」と「光村図書」をAとし、1名が「あかつき」と「光村図書」をAとしている。採択委員会の最終評価では、「光村図書」をAとしている。</p>
伊藤教育長	<p>教育委員各位に意見を求める。</p>
篠原祥子委員	<p>「光村図書」が良いと思う。文字の大きさは、A B判の方が大きく、中学1年生には見やすいと思う。ただ、学校の重たい鞆を考えると、B5判のコンパクトの方が良い。表紙の絵は、道徳の教科書にふさわしく、爽やかで優しさが伝わってくる。目次は、シーズンごとにテーマを掲げてあり、分かりやすい。教材には中学生の新聞投稿やスマホサイト、同じ中学生のボランティア活動等、実際に経験しそうな身近な内容で、自分に置き換えて、考え話し合いができると思う。各教材の後ろにある「学びのテーマ」として「考える観点」「見方を変えて」は具体的で、生徒自身が主体的に考えやすく導き、「つなげよう」は他の教材のページが表記され分かりやすい。「考え議論する道徳」に適している教科書で、道徳性が養われる事が期待できる。</p>
鈴木千明委員	<p>全体的な感想として、A B判は、持ち運びには不便な気がする。また、漫画を使用した教科書は、臨場感があり、子どもにとっては普段の生活に投影しやすい印象がある。一方、セリフの奥の意味を掘り下げて考える前に、読み流してしまう傾向があるのではないかと感じた。ワークノートに関しては、スペースが大きすぎると、毎時間書くのは負担が大きいのではないかと。</p> <p>私は、「日本文教出版」の教科書が良いと思った。挿絵が効果的に使われていて、タイトル下のイラストなども、導入にはいいのではないかとと思う。イラストであっても、人の表情には意味があるということを感じ取ることは、デジタル時代の子どもたちにはぜひ身につけてもらいたいスキルである。自分への振り返りの項目は、一律な印象を受けるので、子どもたちに継続的に記入させることに効果があるのかどうか疑問である。</p> <p>また、「光村図書」も良いと思った。コンパクトで目次がシーズンごとに分けられているのも良かった。私が、特に良いと思った点は、背表紙に保護者へのメッセージがあり、教科書が、子どもたちのためだけでなく、家庭で話し合う材料にするという視点があるという所である。</p>

## 四国中央市教育委員会会議録

東誠委員

まず、どの教科書も、学習指導要領のねらいや今回の道徳の教科化に沿うよう、本当によく考えられ、工夫・洗練されていると感じた。また、子どもたちが興味を持って意欲的に学習できるような構成や題材の取り上げ方に、心惹かれるものが多くあった。その中で、3社について感想を述べ、採択に関する私の意見を言わせていただく。

まず、「あかつき」についてであるが、本冊と別冊ノートで構成されていることが特徴の1つだと思う。別冊・道徳ノートの見開き右半分には、様々な切り口から道徳的価値への理解を深める資料が掲載されている。例えば、表やグラフから考えさせる、詩や名言の味わい深いもので心を刺激するものなど、考えるためのヒントがあった。これらは、導入や終末等に効果的に活用できると思う。左半分は、道徳的価値の自覚を深める活動や問いがあり、書くことや読み返すことを通して、心の在り方を振り返ることができるようにしてあった。また、この1冊が1年間の自身の心の成長の足跡になると思う。この別冊ノートがあれば、指導者が導入などのための資料や教材を探すことや、ワークシートの準備等の省略化が図れるだろう。また、このノートの活用によって、学習を深めたり議論したりすることができるし、指導者による指導内容の差も生まれにくいのではないかと思った。ただ、このノートを毎時間書いていくとなると、道徳の時間内にはできない場合も多くなり、かえって生徒に負担になってしまうのではないか。生徒にとって苦痛な道徳になってはいけないと思った。

次に、「東京書籍」についてであるが、読み物資料で少し長文のものもあるので、中学生においても、分かりやすさや読みやすさなどは必要だと思うが、印刷が鮮明で、少し太めのUDフォントで書かれていて良いと思った。また、資料の内容に深みがあったり、「感動・畏敬の念」を扱う教材については写真が大変大きく、大自然の迫力が伝わるような工夫があったり、心打つものがあった。また、巻末に心情円やホワイトボード用紙を付録としたり、「アクション」のページで役割演技や問題解決的な学習の方法を示したりするなどして幅広い学習活動を促していた。また、各教材には、「つぶやき」コーナーがあり、心に残ったことなどを4行位のメモ程度で書くようになっている。これは、毎時間でも生徒の負担にはならないだろうし、重点的に指導したい場合は別のワークシートを作成すればよいし、また、「つぶやき」のメモをもとに、切り取り式の学期末の自己評価用紙に整理することで、生徒は自己を振り返るとともに、指導者も評価に役立てることが出来るのではないかと思った。内容構成においては「いじめのない世界へ」「いのちを考える」の2つのユニットが構成されており、各学年3時間扱いで、いじめ問題対応生命の重さ・尊さについて、様々な側面から考えを深めることが出来るようにされているのが良いと思った。生命尊重ユニットで扱われている資料が大変良かった。

3社目は光村図書についてであるが、生徒の学校生活の実態を考えて、1年間を4つのシーズンに分けてテーマを持たせた形で教材が配置されていて、系統的・発展的に学ぶことができるよう工夫されていた。また、教材ごとに1ページの手引きが提示されており、そこに学びのテーマや考える観点が示されているので、生徒は目的を持って学習を進めることが出来るし、指導者もその観点に沿って主発問を構成したり教材研究したりできるので、指導者による差が生じにくいのかなと思った。手引きの最後に「私の気づき」の欄があり、1時間ごとに感じたことや考えたことなどを書き留めることが出来るようにしてあるので、この毎時間の積み重ねが生徒の心の成長の足跡

## 四国中央市教育委員会会議録

篠原理委員	<p>になるであろうし、指導者の見取りと評価に結び付くと思う。その他、「どう学ぶか」「なぜ学ぶか」のページがあったり、コラムのページで現代的な課題について深めたり、考え方のスキルを身に着けるようにしたり、様々な面に配慮されていると感じた。</p> <p>これらの中から、私は、「東京書籍」を推薦する。理由は、道徳の教科化で求められるものが多い中で、重点化が図られ構成がすっきりしていることと、教材の内容について、発達段階を考慮した話題や人としての生き方を考える心に響く内容が多く、価値の押しつけにならず幅広く考え、議論することができるのではないかと感じたからである。</p> <p>道徳の教科書の選定にあたり、採択委員会の評価の高い「光村図書」、「東京書籍」、「廣済堂あかつき」の3社に絞って検討を行った。「光村図書」は、B5判、「東京書籍」、「廣済堂あかつき」は、A B判であるが、中学生にとってカバンや机に収まりやすい大きさ、最近問題になっている学生の登下校時の荷物の重さなどを配慮して考えるとB5判の「光村図書」がよいように思う。字の大きさ、行間については、どの教科書も中学生に見合ったものであるように感じた。内容について、「光村図書」は、生徒の生活に起こり得る身近な題材や身近な出来事をテーマに選び、内容が豊かで多分野において好感がもてた。伝統文化についての教材、自然災害に関する題材も取り上げられており、それが中学生の生活に沿ったものであることがとてもよいと思う。道徳が教科化された背景には、いじめの問題の解消もあると聞いているが、その点からしても、「光村図書」の取り上げている題材は、大変適切であると思う。興味をもって読みたいと思う内容のものが多く、明日の道徳の授業が楽しみになるようにも感じられる。写真やイラストなども多く取り入れられ、その配置についてもよく工夫されており、親しみやすいものであった。</p> <p>次に「東京書籍」だが、イラストなども現代風で、時代に即した内容は、なるほどなと思わせるものであった。ただ、内容の量が多く、1時間の限られた時間の中では、それを理解するだけに留まってしまう題材も見受けられた。</p> <p>最後に「廣済堂あかつき」についてだが、命の大切さなどを多く取り上げた内容があり、また、本冊と別冊ノートの2冊が一体となった工夫は見られるが、別冊ノートは、授業内容と並行して使うものではないようで、深く内容を掘り下げる時以外はあまり適さないのではないかと考えた。</p> <p>以上のような内容で、総合的に検討させていただいたが、私は教科評価の一番高い「光村図書」発行の「中学道徳 きみがいちばんひかるとき」を道徳の教科書に推薦する。</p>
伊藤教育長	<p>採決を行う。</p> <p>平成31年度中学校教科用図書「特別の教科道徳」については、挙手多数により「光村図書」を採択することに決定する。</p> <p>続いて、小学校について審議する。</p> <p>各教科順に審議をしたいがよいか問う。</p>
各委員	<p>意義ない旨伝える。</p>
伊藤教育長	<p>では、国語から、審議を行う。</p>

## 四国中央市教育委員会会議録

	まず、採択委員会答申結果の説明を事務局に求める。
品川学校教育課長	「国語」については、5つの出版社からの採択となっている。研究委員は「光村図書」と「教育出版」をA、その他をBとしている。採択委員会の最終評価では「光村図書」を最も推している。
伊藤教育長	意見を求める。
篠原祥子委員	私は、「光村図書」が良いと思う。学年の目標を見据えて、他教科との関連も考慮され、意欲的に学習に取り組める構成である。また、日本らしさを味わうことのできる「季節の言葉」のページが設定されている。巻末に用語や図表の掲載があり、特に3～6年にあるローマ字表は効果的である。
伊藤教育長	答申のとおり、「光村図書」で意義はないか。
各委員	意義ない旨伝える。
伊藤教育長	それでは、「国語」については、「光村図書」を採択する。 次に「書写」について、審議を行う。 まず、採択委員会答申結果の説明を事務局に求める。
品川学校教育課長	「書写」については、6社からの採択となっている。研究委員は「光村図書」と「教育出版」をA、他はBとしている。採択委員会においては、「光村図書」を推している。
伊藤教育長	意見を求める。
篠原祥子委員	私は、「光村図書」が良いと思う。指導しやすい、学習しやすいという観点から、「国語」の教科書と同じ出版社であることが望ましい。ポイントがよくわかり、基礎的・基本的な知識及び技能が身に付くよう配慮されている。
伊藤教育長	答申のとおり「光村図書」で意義はないか。
各委員	意義ない旨伝える。
伊藤教育長	それでは、「書写」については「光村図書」を採択する。 次に「社会」について、審議を行う。 まず、採択委員会答申結果の説明を事務局に求める。
品川学校教育課長	「社会」については、4社からの採択となる。研究委員は3名とも「東京書籍」をAとしている。採択委員会でも、総合的に評価し「東京書籍」を推している。
伊藤教育長	意見を求める。
東誠委員	「東京書籍」を推薦する。まず、学習段階の「つかむ」「調べる」「まとめ

## 四国中央市教育委員会会議録

	<p>る」「いかす」がわかりやすく明示され、問いや活動が促されているので、児童は、見通しをもって問題解決的な学習を楽しく進めていくことが出来る。また、豊富な教材・資料が掲載され、質・量ともに充実している。現在使用されている中で、問題となるようなことも聞いていない。</p>
伊藤教育長	<p>答申のとおり、「東京書籍」で意義はないか。</p>
各委員	<p>意義ない旨伝える。</p>
伊藤教育長	<p>それでは、「社会」については、「東京書籍」を採択する。 次に、「地図」について、審議を行う。 まず、採択委員会答申結果の説明を事務局に求める。</p>
品川学校教育課長	<p>「地図」については、2社からの採択となる。全研究員の評価では、「帝国書院」が調査要素の5項目がAである。採択委員会では、総合的に評価し、「帝国書院」を推している。</p>
伊藤教育長	<p>意見を求める。</p>
東誠委員	<p>「帝国書院」を推薦する。まず、国土の全体像を明確に捉えることができる。「日本列島」のページにおいては、わが国固有の領土である北方領土、竹島、尖閣諸島の写真が配置され、地図の中でどの位置にあるかが具体的に示されている。また、児童が開きやすい巻頭ページに、基本的な都道府県別の日本地図が配置され、常に振り返って確認しやすいようになっている。また、学習に必要な情報量が多く、必要な資料が網羅されている。</p>
伊藤教育長	<p>答申のとおり「帝国書院」で異議はないか。</p>
各委員	<p>異議ない旨伝える。</p>
伊藤教育長	<p>それでは、「地図」については、「帝国書院」を採択する。 次に、「算数」について、審議を行う。 まず、採択委員会答申結果の説明を事務局に求める。</p>
品川学校教育課長	<p>「算数」については6社からの採択となる。調査研究について、「啓林館」は、5つの調査要素でAと判断されている。採択委員会では、「啓林館」を推している。</p>
伊藤教育長	<p>意見を求める。</p>
鈴木千明委員	<p>私は、「啓林館」が良いと思う。学校訪問でも、先生方が工夫して使用されていた。また、前回から「啓林館」を使用しているが、特に不具合なども聞かれず、楽しい授業をすることができている。内容に関しても、児童の発達段階に適応している。単元ごとに扱われる図表等が豊富である。基礎的な知識が身に付きやすい工夫がされていると感じた。学校訪問で、児童が手足を動かして算数を学んでいる様子を見ることができ、算数的活動の充実が図られると思う。</p>

## 四国中央市教育委員会会議録

伊藤教育長	答申のとおり「啓林館」で異議はないか。
各委員	異議ない旨伝える。
伊藤教育長	それでは、「算数」については、「啓林館」を採択する。 次に、「理科」について、審議を行う。 まず、採択委員会答申結果の説明を事務局に求める。
品川学校教育課長	「理科」については5社からの採択となる。研究委員は、調査要素のAの判断を「学校図書」には5つ、続く「東京書籍」には2つ出している。採択委員会では、「学校図書」を推している。
伊藤教育長	意見を求める。
篠原理委員	私は、「学校図書」が良いと思う。どの学年においても、児童の興味・関心を引き、意欲的に取り組めるような鮮明な写真や挿絵が使われている。また、4年生の「季節」や5年生の「てこ」、6年生の「地層」の単元では、愛媛県内の様子が紹介されており、自分の生活と学習がより身近なものに感じられると思う。末尾の「考えよう調べよう」では、予想、確かめ、結果、まとめという学習の見通し方がよくわかるようにしている上、ノートに記録したり、実験方法を確認したりすることにも役立つようになっている。
伊藤教育長	答申のとおり「学校図書」で異議はないか。
各委員	意義ない旨伝える。
伊藤教育長	それでは、「理科」については、「学校図書」を採択する。 次に、「生活」について、審議を行う。 まず、採択委員会答申結果の説明を事務局に求める。
品川学校教育課長	「生活」については7社からの採択となる。研究委員の調査では、「東京書籍」には、6つ全てにA判定を出している。採択委員会では、「東京書籍」を推している。
東誠委員	私は、「東京書籍」を推薦する。まず、「スタートカリキュラム」が優れている。これは、児童にとってなじみやすく、幼児教育から小学校教育へのつながりにふさわしい。また、紙面構成について、学びの道筋がわかりやすく配慮されている。また、美しくダイナミックで、表情豊かな写真や挿絵が多く、児童の知的好奇心を高め意欲を引き出すものと考え。現在使用されている中で、問題となるようなことも聞いていない。
伊藤教育長	答申のとおり「東京書籍」で異議はないか。
各委員	意義ない旨伝える。
伊藤教育長	それでは、「生活」については、「東京書籍」を採択する。

## 四国中央市教育委員会会議録

	次に、「音楽」について、審議を行う。 まず、採択委員会答申結果の説明を事務局に求める。
品川学校教育課長	「音楽」は2社からの採択となる。研究委員は、調査要素のAの判断を「教育芸術」に5つ、「教育出版」には1つ出している。採択委員会でも、読みやすさを鑑みて、「教育芸術」を推している。
鈴木千明委員	私は「教育芸術」が良いと思う。写真と挿絵が効果的に使用されていて、子どもの興味を引く工夫がある。また、文字の大きさや配色が子どもたちにも見易いと感じた。
伊藤教育長	答申のとおり「教育芸術」で異議はないか。
各委員	意義ない旨伝える。
伊藤教育長	「音楽」については、「教育芸術」を採択する。 次に、「図画工作」について、審議を行う。 まず、採択委員会答申結果の説明を事務局に求める。
品川学校教育課長	「図画工作」は2社からの採択となる。研究委員は、調査要素のAの判断を「日本文教出版」には3つ出している。採択委員会では、「日本文教出版」を推している。
伊藤教育長	意見を求める。
東誠委員	「日本文教出版」を推薦する。まず、表現と鑑賞の分野のバランスが良い。また、幼稚園から小学校・中学校までの子どもの発達を見据えて、系統的・発展的に構成されている。少なくなった授業時数の中で、ややもすると、コンクール応募作品や掲示作品作りに偏った学習内容になりがちな教科であるだけに、系統性を大切にされた内容は重要である。現在使用されている中で、問題となるようなことも聞いていない。
伊藤教育長	答申のとおり「日本文教出版」で異議はないか。
各委員	意義ない旨伝える。
伊藤教育長	それでは、「図画工作」については、「日本文教出版」を採択する。 次に、「家庭」について、審議を行う。 まず、採択委員会答申結果の説明を事務局に求める。
品川学校教育課長	「家庭」は2社からの採択となる。全研究委員の調査要素に係る評価が、「開隆堂」が全てA判定である。採択委員会でも、「開隆堂」の方が分かりやすいということで推している。
伊藤教育長	意見を求める。
篠原祥子委員	私は、「開隆堂」が良いと思う。5、6年を通しての学習のつながりがよ

## 四国中央市教育委員会会議録

	くわかり、家庭生活に関心をもち、家庭生活を大切にしようとする心情が育つよう構成されている。また、資料の大きさ・表し方が適切であり、文章が簡潔である。したがって、各ページがすっきりしていて、興味・関心が高まり、理解しやすい。
伊藤教育長	答申のとおり「開隆堂」で議義はないか。
各委員	意義ない旨伝える。
伊藤教育長	それでは、「家庭」については、「開隆堂」を採択する。 最後に、「保健」について、審議を行う。 まず、採択委員会答申結果の説明を事務局に求める。
品川学校教育課長	「保健」は5社からの採択となる。研究委員は、調査要素のAの判断を「学研教育みらい」に5つ、「東京書籍」に4つ出している。採択委員会では、「学研教育みらい」を推している。
伊藤教育長	意見を求める。
篠原理委員	学年の目標・内容が適切に選択されているのはもちろんだが、児童の理解を促すイラストや図、写真などと説明がバランスよく構成されている。また、全体的に配色が明るく鮮明で、文章記述の配置や分量も良く、すっきりしていて見やすくなっている。身近な保健活動が個人、家庭、学校、地域と繋がっていることを考えさせ、具体的な課題解決に役立っていることを適切な資料を使って分かりやすくなっている。
伊藤教育長	答申のとおり「学研教育みらい」で異議はないか。
各委員	意義ない旨伝える。
伊藤教育長	それでは、「保健」については、「学研教育みらい」を採択する。 以上で、中学校1教科、小学校9教科、11種目の審議を終了する。全体を通して何か意見はないか。
各委員	特に意見質問等ない旨答える。
伊藤教育長	特に意見質問等ない旨確認し、以上で議案第26号の審議を終了する旨宣する。 その他の案件に移る。
伊藤教育長	<b>その他</b> 各課より、その他案件として報告事項等ないか問う。
森実教育総務課長	次回定例会の招集を願う発言。
伊藤教育長	次回、教育委員会第9回定例会を平成30年9月26日（水曜日）午後1時30分から、新庁舎棟4階401会議室に召集する。

# 四国中央市教育委員会会議録

伊藤教育長	<p>その他に報告等ないか問い、報告意見等ない旨確認する。</p> <p><b>閉会</b> 午後 2 時40分、閉会を宣する。</p> <p>以上、会議の顛末を記録し、その真正であることを認め、署名する。</p> <p>教育委員会会議録署名人</p> <p>四国中央市教育委員会 委員</p> <p>四国中央市教育委員会 委員</p> <p>会議録作成者 教育総務課 鈴木 崇士</p>
-------	--